



— 御本社・阿蘇神社 —

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>



# 社報 あそみや

令和6年4月1日

第89号

発行所

阿蘇神社社務所

多良見町化屋862

☎ 0957-43-5235

## 三種の神器

阿蘇神社

宮司 大島 大明

神社に詣でて殿内に入ると、右に五色の布が飾られています。上部に神を挿して向かって右の五色には「鏡」と「勾玉」、左には「劍」が飾られています。この鏡・勾玉・劍を三種の神器と称します。

三種の神器は、天皇が代々受け継ぎ伝える秘宝とされ、正式名は「八咫鏡」「八尺瓊勾玉」「草薙劍」と云います。「八咫鏡」は伊勢神宮に、「草薙劍」は熱田神宮に祀られています。「八尺瓊勾玉」は皇居の

南北朝時代の北畠親房は、著書「神皇正統記」で三種の神器の徳目を説いています。鏡は正直の心、玉は慈悲の心、劍は決断力が神器に秘められた徳目としています。日常生活でも三つの徳目を実践するよう努めたいものです。

### 敬神生活 綱領

神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、  
明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、  
神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、  
国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

# 迎春 令和六年節分祭 終了!!

阿蘇神社恒例の節分祭が、去る二月三日に実施されました。多良見町商工会が「町おこし」として始めた豆撒きも今年で四十一回、十七名の年男・年女が参加して行われました。

参加者は、まず袴姿に身を正して一年間の開運招福を祈念して殿内で「豆打ちの儀」、その後境内の仮設舞台に移動して豆撒きを行いました。生憎の天候でしたが、福を求める多くの人が集まり、福豆を拾っていました。



—豆撒き—

◎節分祭には多くの商店商社より福豆景品及び特別協賛金、また初穂料・奉献酒を賜りました。御芳名を記し御礼を申し上げます。  
《順不同・敬称略》



—火烧神事—

- ◇初穂料 八江利春、川原陽介
- ◇奉献酒 長崎県神社総代会西彼支部長 松島神社(大瀬戸)役員 江崎照弘
- ◇献 菓 白岩豆店
- ◇豆撒行事景品提供 (株)長崎スクラップセンター、(株)森開発、(有)後田塗料商事、創作厨房たこまる、イトヤマ(株)、(有)南部建設工業、たちばな信用金庫 多良見支店、森田薬品、(有)ビーシーラーニングシステムズ、(有)徳永自動

- 車、(有)総合アルミ、(有)もろおか薬品、寺尾電器、事務機のミヤジマ大杉車輛、(有)マツシヨウ、喜々津ステーシヨンホテル、(有)菅原産業、長崎産機サービス、(株)虹の設備、(有)丸創建材店、十善商店、(有)三伸電機、お茶のたらみ園、(有)クラウンドライ、(株)ききつ青果、蓮創アルミ、(株)多良見住宅、阿蘇神社、木村装束店(京都)、高屋設備、(有)みづほ、(株)十八親和銀行 多良見町支店、(有)丸西自動車、おしゃれの店 花椿、(有)長崎エアースービス、山中板金工業、(株)九州フジパン長崎工場、(株)タナカ自動車、居酒屋 YanYan、(株)カステラ本家福砂屋多良見工場、西原電気商会、(有)たらみ葬儀社、(有)喜々津新聞販売センター、(株)あづま屋、(有)森商会、はんセンター尚美堂 以上
- ◇節分祭特別協賛金 山崎 明 関山妙子(長崎市) 寺尾政明 西平 隆 (有)徳永自動車 (有)もろおか薬品 (株)石橋工業 慈恵病院 (株)森 開発 (株)森 住宅

- (株)ティーエム 黒木建設(株)
- ヤマエ久野(株)長崎支店 (株)小島工作所
- 大石ボデイ (株)カステラ本家福砂屋多良見工場
- アポロカーズ (株)吉川金属商事
- (株)溝上建築 (有)後田塗料商事
- (株)雄 苑 (有)島手そうめん販売(株)
- 西部ガスエネルギー(株)長崎支店
- 共栄機械工事(株)九州支店
- (株)アサヒ (有)南部建設工業
- (有)喜々津新聞販売センター
- 森 義憲 ききつ美容室
- 松屋眼科医院 竹迫整形外科
- 中村医院 たか動物病院
- やの皮ふ科 (有)多良見砕石
- レッカーセンター三根 (株)唐 草
- (有)菅原産業 (有)森 商会
- 大杉車輛 (株)あづま屋
- (有)やまぐち住建 山崎活魚店
- (株)ききつ青果 徳永建設(株)
- マエダ住宅(株) 大久保クリニック
- 喜々津カントリー倶楽部
- デリカフーズ長崎(株) 松尾装業
- イヌオ胃腸科外科医院
- アルファ印刷 (有)吉野企画建設
- ますだ小児科内科医院
- (株)多良見住宅 総合アルミ
- 千葉敏子 西原電気商会

# 御本社 阿蘇神社に参拜

今年喜々津・阿蘇神社が御鎮座四百九十年という慶賀すべき年に当たります。

阿蘇神社では、「御鎮座四百九十年記念事業」として、去る二月十八日に熊本県一の宮の御本社・阿蘇神社に参拝をしました。

御本社は、平成二十八年の地震で甚大な被害を受けましたが、七



—正式参拜—

今回は見事に復旧工事が完了しましたので、復興祝金を募り御本社に奉納いたしました。御本社の桜門は九州最大の規模で、日本三大桜門の一つ称されており、阿蘇神社の象徴なのです。

喜々津阿蘇神社では復興支援募金を実施し、平成三十年に総及び評議員の二十三名で御本社に参拝、募金で集まった浄財を奉納しています。

年八ヶ月を経て、昨年末に全ての復旧工事が完了しました。見事に復旧を遂げた桜門をくぐり、新築された拜殿で正式参拝を行いました。  
北島勝幸総代会長、清水光一評議員代表、宮司の三名が揃って玉串奉奠を行い、御本社の復興を祝うと共に、喜々津阿蘇神社が御鎮座四九〇年を迎えること奉告し、更なる御加護を祈念しました。  
平成二十八年の震災後には、喜々津阿蘇神社では復興支援募金を実施し、平成三十年に総及び評議員の二十三名で御本社に参拝、募金で集まった浄財を奉納しています。

# 皇紀二六八四年甲辰 令和六年の紀元祭を齋行!

二月十一日は神武天皇が奈良橿原の宮に即位された記念日で、今年皇紀二六八四年になります。

祭典では、先ず宮司が先人の建国の苦勞を偲び、皇室の弥栄と天子崇敬者の幸を祈念する祝詞を奏上しました。次に喜々津三曲会の会員五名により尺八の奉納演奏が行われました。

奉納曲「越天楽」「八千代」を演奏され、その後「紀元節の歌」を参列

者全員で斉唱しました。

紀元祭に際し左記のとおり初穂料・奉献酒を賜りました。ご芳名を記しお礼を申し上げます。  
《敬称略》

### ◆奉献酒◆

十八親和銀行多良見町支店長 滝川智也

### ◆初穂料◆

- 喜々津三曲会、(有)森商会 森 誠司
  - J A長崎せいひ常務理事 谷口 謙太郎、J A長崎せいひ喜々津支店長 峯 広光、北島守幸、(株)溝上建築 溝上元規、松尾祥吉、高柳 伸市、峰 輝雄、清水光一、西原三千男、辻 秋義、川口 勉、山下彦幸、川原陽介、木下 聡、石丸昌則、森 英敏、原口博道、嶋田正幸、中路英憲、寺田和幸、北島勝幸、石場弘之、坂井義則、溝上泰治、高嶋正則、松山 司
- 以上



—紀元祭・尺八奉奏—

令和六年「歌会始」御題「友」

御製

をちこちの旅路に会へる人びとの笑顔を見れば心のみぬ

皇后陛下御歌

広島をはじめて訪ひて平和への深き念ひを吾子は綴れり

皇室の新春恒例行事「宮中歌会

始の儀」の御儀が一月十九日、皇居・正殿「松の間」で厳かに執りおこなわれました。

今年是全国と海外から合わせて一五、二七〇首が寄せられたとのことです。

「歌会始」は皇室と国民を繋ぐ皇室行事です。参加してみませんか。

来年の歌会始詠進要項(要約)

一、お題「夢」

令和七年の歌会始のお題は「夢(ゆめ)」。

二、詠進要領

①お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首、未発表のもの。

②書式は、半紙(習字用半紙)を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名(本名、ふりがなつき)、生年月日及び職業(具体的に)を縦書きで明記。

無職の場合は「無職」でも良いが、以前に職業に就いた事がある場合は、なるべく元の職業を記載して下さい。

③毛筆で自書することが出来ない場合は、代筆でも可ですが、代筆の理由及び代筆者の住所・氏名を別紙に書いて詠進歌に添付のこと。

三、注意事項  
次の場合は失格となります。

①お題を詠み込んでいない、短歌の定型でない、用紙が縦長の場合。

②一人で二首以上詠進した場合、毛筆でない場合。

③すでに発表された短歌と同一、または著しく類似する場合。

④詠進歌を歌会始の行われる以前に、新聞、雑誌その他の出版物・年賀状等で発表した場合。

⑤その他詠進要領に依らない場合。

四、詠進のあて先と期間  
「〒一〇〇一八一―一 宮内庁」宛とし、封筒に「詠進歌」と書き添える。

詠進歌は小さく折って封入して差し支えない。九月三十日の消印まで有効。

◇奉納御礼◇  
年末年始に以下の通り奉納を賜りました。御礼を申し上げます。

一、鏡餅一重 中村 医院 殿  
一、奉献酒 中村 淳 殿  
一、注連縄料 石丸 清 殿  
一、初穂料 中村 晉 殿  
徳永建設(株) 徳永孝次 殿  
松尾興一 郎 殿  
山口康児 様  
橋浦和久 殿  
山口肇 殿  
木戸郁子 殿  
大久保 洋 殿  
宮本美恵子 殿  
吉村 佑貴子 殿

◆あとかぎ◆  
今年(令和六年)は御鎮座四九〇年。記念事業として昨春秋に倉庫を新設、二月末には御本社に総代会長を団長として参拝をした。▼平成二十八年の熊本地震で甚大な被害を受けた御本社は昨年末に完全復旧、特に倒壊した桜門の修復で確認された部材は壱万壱千点、その内補修等をして再利用された部材は七十二%と伝わります。▼再建された桜門の見学を兼ね、復興した御本社阿蘇神社に是非とも参拝していただきたいものです。